



岐阜県立斐太高等学校

学校案内 2023





創立136年 めざすものは、 豊かな心と主体性

校訓

せつ き たく ま かっ こ ふ ばつ
切磋琢磨 確乎不拔

教育目標

豊かな心と主体性を育み、幅広い知識と高い学力を身に付けることで、多様な社会に対応できる創造性豊かな人材を育成します。

スクール・ポリシー

◆グラデュエーション・ポリシー(GP)『育てたい生徒像』

- 生涯にわたり 探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒
- 多様性を尊重し他者と協働することができ、国際社会の持続的発展や平和に貢献することができる生徒
- 地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してもグローバルな視点からアプローチすることができる生徒

◆カリキュラム・ポリシー(CP)『生徒をどう育てるか』

- 生徒一人一人の興味・関心が引き出され、深い学びと進路実現を可能にするバランスの取れたカリキュラムの編成とICTの活用や少人数によるきめ細かな指導
- 地域や社会と連携した探究的な学習や体験活動等を通じて、教科横断的な学び、協働的な学びを推進するとともに柔軟な思考力を醸成
- 生徒を主体として運営される様々な行事を通して、創造的企画運営力やリーダーシップ、チャレンジ精神を育成

◆アドミッション・ポリシー(AP)『どんな生徒を待っているか』

- 学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒
- 自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切に自他の個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒
- 広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト(自らの課題)として捉えることができる生徒

設置課程
・学科

全日制の課程
普通科(前期・後期 二期制)

校章



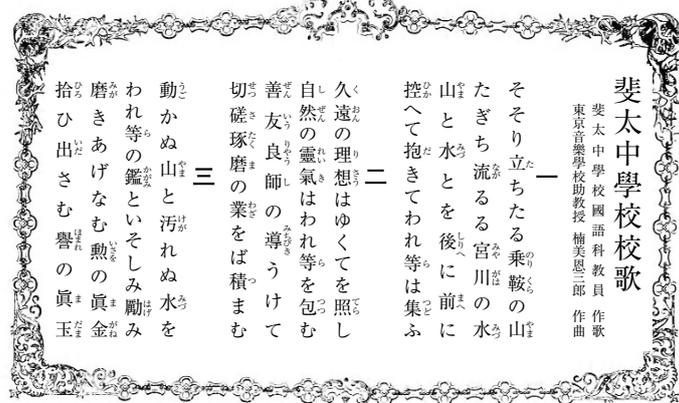
明治32年、当時斐太中学校の図画科の担当であった田島稻三氏の考案にかかる。「中」の字を基調として「蜻蛉島」(あきつしま)に雄飛せんとする意図を込めたという。大町桂月・幸田露伴らから高く評価されたと伝えられる。

校歌

県内で最も歴史、由緒あるもので、明治41年の元旦の拝賀式から歌われ始め、当時のまま百年以上長きに渡って歌い続けられている。

校名

この地方の呼び名を「日本書紀」では「飛騨」、それ以前の表記として「万葉集」では「斐太」、国造本紀・賦役令では「斐陀」とあり、「斐太」という校名は「万葉集」の「斐太」に拠るものである。



沿革

明治 19年 5月17日	飛騨三郡経営高山中学校開設
	6月1日を創立記念日とする
31年 7月18日	城山より現在地に移転
32年 4月 1日	岐阜県斐太中学校と改称 蜻蛉の徽章制定
41年 1月 1日	校歌を制定
昭和 23年 2月29日	通信教育部併設
23年 4月 1日	学制改革により新制高等学校に昇格
23年 8月18日	岐阜県立斐太高等学校と称す
61年 6月 1日	創立100周年記念式典
平成 8年 6月 1日	創立110周年記念式典
9年10月 5日	通信制50周年記念式典
17年 4月 1日	通信制の課程飛騨高山高校へ移管
18年 6月 1日	創立120周年記念式典
28年 6月 1日	創立130周年記念式典

受け継がれる伝統

白線流し

毎年3月1日の正午頃、卒業証書授与式後に行なわれる行事です。学校の前を流れる大八賀川をはさんで、校舎側に在校生が、対岸には卒業生が並びます。在校生は「送別歌」とともに旅立つ先輩の門出を祝い、卒業生は「巴城ヶ丘別離の歌」を歌いながら想い出の詰まった校舎に別れを告げます。そのとき、卒業生は、友との永遠の友情を誓って制帽の白線とセーラー服のネクタイを1本に結び合わせ、高校3年間のなつかしい想いを込めて早春の川面に流します。「斐太高校ありがとう!!」… 叫ぶ先輩の姿を見て、斐太高校への想いと誇りが後輩へと受け継がれていくのです。

この白線流しは、旧制中学以来、80年以上続けられてきた、斐太高校の伝統ある行事です。





学校行事

高校生活を彩る

斐太高校は行事も盛んです！

文化祭（蜻蛉祭）・体育祭・球技大会・白線流しなどの行事は、生徒会が中心となって運営されています。



入学式



対面式



球技大会



蜻蛉祭



東京大学見学



体育祭



遠足



修学旅行



マラソン大会



白線流し



卒業式

4

入学式
対面式
課題・実力テスト
ウォームアップクラス
生徒総会

5

球技大会
身体測定
体力テスト

6

創立記念式典
前期中間考査
蜻蛉祭

7

三者懇談

8

東京大学見学
課題・実力テスト

9

体育祭
前期末考査

10

遠足
修学旅行

11

マラソン大会

12

後期中間考査
エンパワーメントプログラム
三者懇談

1

課題・実力テスト
大学入学共通テスト
地域活性化プログラム発表

2

学年末考査

3

卒業式
白線流し
合格者と語る会
海外研修





部活動

熱中できることがあるから頑張れる

体育系・文化系ともにいろいろな部活動があり、
全校生徒の95%以上が部活動に参加しています。

体育系部活動 (11種)

- 陸上競技
- 硬式野球
- 卓球
- ソフトテニス
- ハンドボール
- サッカー
- バスケットボール
- バレーボール
- バドミントン
- 弓道
- 剣道

文化系部活動 (9種)

- 自然科学
- 放送
- 茶華道
- 書道
- 吹奏楽
- 軽音楽
- 美術
- 写真
- インターアクト



バスケットボール



陸上競技



美術



インターアクト



ハンドボール



バドミントン



写真



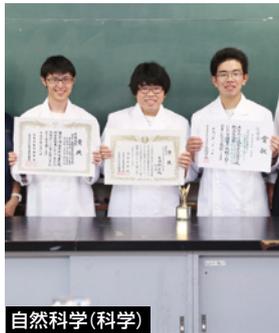
軽音楽



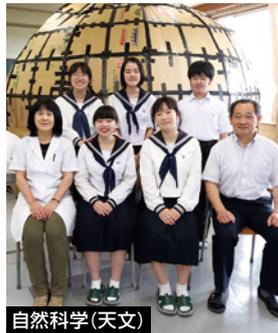
弓道



硬式野球



自然科学(科学)



自然科学(天文)



剣道



ソフトテニス



サッカー



茶華道(茶道)



茶華道(華道)



卓球



バレーボール



放送



書道



吹奏楽

その他、個人の活動も応援しています！

最近の活動 ▶ 水泳、空手、柔道、スキー、将棋 (全国高等学校総合文化祭将棋部門出場など)



カリキュラム

学ぶ意欲を高める

豊かな人格・高い学力を目指すカリキュラム 令和元年度から「進学型単位制」に移行しました。

習熟度別、進路別授業で、進路実現に向けてきめ細かい授業をおこなっています。

令和5年度入学者用教育課程(予定)

	文理共通 1年	文系2年	文系3年	理系2年	理系3年
0					
1	現代の 国語	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語
2					
3					
4	言語文化	古典探究	国語特講 (学)	古典探究	古典探究
5					
6		地理総合	古典探究	地理総合	地理探究
7	公共				世界史探究
8					日本史探究
9	数学I	歴史総合	日本史探究	数学II	数学III
10	数学II	日探 世探	世界史探究		
11					
12	数学A	数学II	政治経済	数学III	特講A(学)
13				数学B	特講B(学)
14				数学C	理系数学
15	生物基礎	数学B	数学C	数学C	数学C
16		数C	数C	物理基礎	
17					
18	体育	化学基礎	化学基礎	物理	生物
19	保健体育	地学基礎	化学基礎	化学基礎	物理
20	音楽I	地学基礎	化学基礎	化学基礎	化学
21	美術I	体育	生物基礎	化学	化学
22	書道I		生物基礎		
23		保健体育	生物基礎	体育	化学
24	英語C I		生物基礎		
25			生物基礎	保健体育	体育
26		英語C II	体育		
27	論理・表現 I			英語C II	英語C III
28					
29	家庭基礎	英語C III		英語C II	英語C III
30					
31	情報 I	論理・表現 II	論理・表現 III	論理・表現 II	論理・表現 III
32	総合探究	総合探究	論理・表現 III	総合探究	論理・表現 III
33	LHR	LHR	LHR	LHR	LHR
34					

※科目名や時間数は変更になることがあります。

(学)…学校設定科目

授業以外の取り組み

進学対策

1年

- 月曜講座
- 夏季補習
- 模擬試験(全員参加 年3回)
- ハイレベル模試(希望者 年1回)
- インターンシップ(夏休み)
- 職業講話
- 合格者と語る会

3年

- 早期トレーニング
- 模擬試験(マーク・記述・小論文・看護・公務員)
- 放課後補習(英・数・国・理・地歴公民)
- 東大京大特別講座
- 夏季補習
- 共通テスト対策(12月~共通テスト前日)
- 国公立二次試験・私大対策(共通テスト後~)

2年

- 月曜講座
- 夏季補習
- 模擬試験(全員参加 年4回)
- ハイレベル模試(希望者 年3回)
- 学部学科説明会
- 東京大学見学(夏休み)
- インターンシップ(夏休み)
- 合格者と語る会
- 小論文、志望理由書指導
- 面接指導
- 添削指導
- 学部学科説明会

学習支援

- 1年ウォームアップクラス(4月)
 - 国語・数学・英語・2時間または3時間連続
 - 家庭学習を含めた高校での学習方法の体験指導
- 少人数・習熟度別・進路別授業
 - 1年 数学、英語
 - 2年 文系クラス 数学、英語
 - 理系クラス 数学
 - 3年 文系クラス 古典、数学、英語
 - 理系クラス 数学、英語、物理

日課表

予 鈴	8:05	予 鈴	12:50
S H R	8:10~ 8:20	第5限	12:55~13:45
第1限	8:25~ 9:15	第6限	13:55~14:45
第2限	9:25~10:15	第7限	14:55~15:45
第3限	10:25~11:15	S H R	15:45~15:55
第4限	11:25~12:15	清 掃	15:55~16:05
昼 休	12:15~12:55		

進路別 履修パターン(予定)

授業の中で、進路目標に合った学習が可能になります。

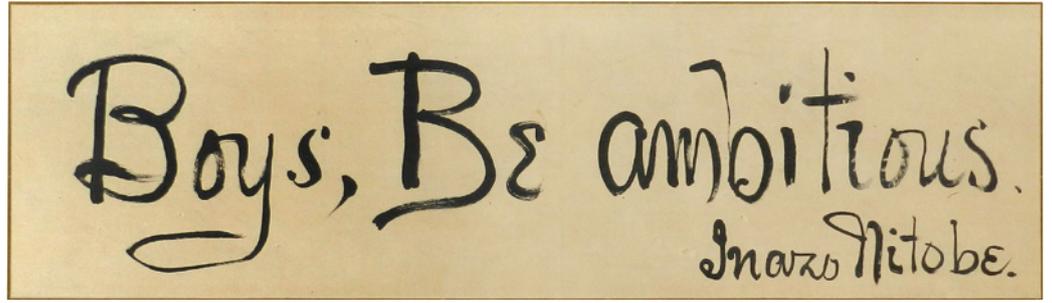
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 文系 | ● 国公立文系：難関 | 理系 | ● 国公立理系：難関 |
| | ● 国公立文系 | | ● 国公立理系 |
| | ● 私立文系 | | ● 私立理系 |
| | ● 私立体育系 | | ● 管理栄養系 |
| | ● 国公立芸大 | | ● 看護系 |
| | ● 私立芸大 | | ● 文理系型 |
| | ● その他芸術系 | | |





進路

高い志を抱き、世界に羽ばたこう!



昭和36年8月、中33回卒の
荒垣秀雄氏により本校へ寄贈された
新渡戸稲造直筆の書

新渡戸稲造は国際連盟の事務次長を務めた農業経済学者、教育家、前の五千円札肖像の人物。
札幌農学校(現在の北海道大学)の二期生として入学。Boys, Be ambitious(少年よ、大志を抱け)
は、農学校に教頭として赴任したウィリアム・スミス・クラーク博士の言葉。

堅実な実績

国公立大学合格者

122名

(令和3年度卒業生)

国公立大学は毎年100名以上合格

東京大学(理科二類)	1名
大阪大学(外国語)	1名
名古屋大学(法、経、理、工、農、医)	9名
北海道大学(総合入試理系)	1名
広島大学(医)	1名
金沢大学(人間社会、理工、医薬保健)	10名
千葉大学(工、園芸、看護)	3名
岐阜大学(教、医)	7名
東京都立大(理)	1名
名古屋市立大(経、芸術工、薬)	3名

主な国公立大学

横浜国立大学	2名	名古屋工業大学	2名
新潟大学	1名	三重大学	3名
富山大学	9名	横浜市立大学	3名
福井大学	1名	金沢美術工芸大学	1名
山梨大学	1名	愛知県立大学	1名
信州大学	5名	京都府立大学	1名
静岡大学	4名	大阪公立大学	3名
愛知教育大学	1名		

私立大学合格者

582名

(令和3年度卒業生)

慶應義塾大学	1名
早稲田大学	2名
上智大学	3名
東京理科大学	6名
明治大学	6名
青山学院大学	1名
立教大学	2名
中央大学	9名
法政大学	8名
同志社大学	6名
立命館大学	18名
関西学院大学	1名
関西大学	8名
南山大学	21名
名城大学	25名
岐阜聖徳学園大学	28名

大学入学共通テスト出願者のうち、半数以上が国公立大学に合格

国公立大学 過去の実績

東京大学	神戸大学	新潟大学	名古屋工業大学
京都大学	国際教養大学	富山大学	岐阜大学
大阪大学	東京藝術大学	金沢大学	三重大学
名古屋大学	筑波大学	福井大学	滋賀大学
北海道大学	千葉大学	山梨大学	広島大学
東北大学	お茶の水女子大学	信州大学	東京都立大学
九州大学	東京外国語大学	静岡大学	愛知県立大学
東京工業大学	東京学芸大学	浜松医科大学	名古屋市立大学
一橋大学	横浜国立大学	愛知教育大学	大阪公立大学…などに合格

私立大学 過去の実績

慶應義塾大学	法政大学	愛知大学
早稲田大学	明治大学	中京大学
青山学院大学	立教大学	藤田医科大学
学習院大学	同志社大学	岐阜聖徳学園大
国際基督教大学	立命館大学	…などに合格
上智大学	関西大学	
中央大学	関西学院大学	
津田塾大学	南山大学	
東京理科大学	名城大学	



実践

伝統と革新 進み続ける教育実践!

地域共創フラッグシップハイスクール (Flagship of Regional co-creation High school)



中間発表会

● 地域に根差した教育実践

● 地域に必要なとされる学校教育とグローバルな視点の人材育成

● 飛騨地域でしかできない教育実践に取り組みます。

FRH、2本の柱

地域活性化プログラム

地元企業や外部機関との連携による地域活性化に向けた提案

繋がり、深まる
地域との連携

昨年度の探究テーマ例

- 新しい飛騨高山の視点
- 新しい工芸品のカタチ
- 飛騨高山の林業を発信しよう
- 防災意識の向上 ~高校生にできること~
- 誰もが味わえる飛騨
- 私たちが創る高山の多文化共生と未来

地域の魅力、再発見!



飛騨高山大学連携センターによる相談会

2022年全国高等学校グローバル探究オンライン発表会

【日本語発表部門 銀賞】

「高校生目線の中部山岳国立公園の活性化方法」

地域の課題、解決へ!



Hida.T-Academia



第3回飛騨高山学会

探究学習の成果は、発表。提案の実現を目指します!

コミュニケーション能力育成プログラム

- エンパワーメントプログラム (3日間の英語集中講座)
- 英語ディベート講習
- ロサンゼルスへの海外研修(R1~R4は中止)

地域と世界を繋ぐ
グローバル教育



令和4年
1月25日(火)
12~45~
高山市民文化会館
大ホール



エンパワーメントプログラム



英語ディベート講習会



海外研修 (H30)

FRH主な年間計画

- 10月 斐太高校人材育成プログラム
- 12月 地域活性化プログラム中間発表会
- 12月 エンパワーメントプログラム
- 1月 地域活性化プログラム (Hida.T-Academia) 発表会 (高山市民文化会館)
- 2月 英語ディベート講習会、クラス対抗ディベート大会 (日本語)

将来を見据えた
多様なプログラムの実施



地域の資源を生かした
観光プログラムを体験

自分の夢をかなえた先輩たちからのメッセージ

令和3年度卒業生
東京大学
理科二類
合格



林 佑哉
 (国府中学校出身)

僕は高校3年間、勉強を中心に過ごしてきました。勉強以外のことはあまり得意ではないので、ここでは主に勉強のことについて書きます。

志望校を決めたのは高校入学後の4月で、それからは志望校に合格するために勉強をしてきました。同じ大学を目指す仲間がおらず不安でしたが、放課後に学校に残って勉強している仲間や塾で遅くまで勉強している仲間から刺激を受け、勉強を頑張ることができました。また、先生方は手厚い指導をしてくださいました。質問をしに行くと僕が理解するまで丁寧に説明してくださったり、解答の添削をして何が間違っているか解説してくださったり、とにかく先生方には助けられました。また、僕は一度志望校を考え直

した時期がありましたが、その時も先生方が相談に乗ってくださったおかげで志望校を変えずに勉強を続けることができました。先生方のサポートがなければ、志望校に合格できていなかったと思います。

このように、斐太高校では高めあえる仲間と頼れる先生方がいるので、勉強を頑張れる環境が揃っていると思います。あとはみなさんの頑張り次第です。

勉強に限った話ではありませんが、3年間で何かをやり遂げようと目標を持って過ごすと、高校生活が充実したものになると思います。みなさんが熱中できることを見つけ、充実した高校生活を送れることを願っています。

令和3年度卒業生
名古屋大学
経済学部
合格



梨谷 柗太
 (中山中学校出身)

私は斐太高校に入学して本当によかったと思っています。たくさんの仲間や先生方のおかげでとても楽しく3年間を過ごすことができました。

斐太高校に入ると、部活の移動のバス内で単語帳を開いているなど中学校とは環境がガラッと変わると思います。こうした意識の高い仲間から刺激を受けて継続して勉強することができました。斐太高校の良さは勉強だけでなく、部活や行事にも全力で取り組む所だと思います。蜻蛉祭や球技大会、体育祭など多くの行事があるので、全部を楽しんでほしいです。勉強と行事の切り替えをしっかりすれば

本当に楽しめるものなので是非積極的に参加してほしいです。

高校3年間はあっという間で、どうしても大学受験も段々と視野に入れていかなければなりません。私はこの大学を志望校にしたのが2年生の頃だったのですが、志望校を設定すると勉強に対してのモチベーションが上がるので、なるべく早く、高い目標を持つことが大事だと思います。皆さんの斐高での生活が充実したものになることを願っています。

令和3年度卒業生
名古屋市立大学
薬学部薬学科
合格



谷腰 紗弓
 (東山中学校出身)

斐太高校の良いところは行事の中で伝統を大切にしつつ、生徒の自主性を尊重した自由さもあるところだと思います。斐太高校は自分の学校に誇りをもてる、そんな高校です。私は斐太高校で3年間を過ごし、斐太高校を選んで良かったと感じています。

思い出に残っていることのひとつとして体育祭や球技大会などの行事では、クラスメイトとの仲を深めるとともに、かけがえのない思い出をつくるのが出来ました。特に3年生の文化祭では、劇を一からクラスの仲間とつくりあげていく感動を得られました。文化祭実行委員としても活動し、生徒主体で全体が動いていく斐太高校の文化祭の魅力を実感しました。受験勉強に取り組む環境としても、斐太高校は恵まれた環境がそろっています。勉強や進路のアドバイスをくださったり、毎日添削をしてくださったりと、様々なかたちで生徒をサポートしてくださる先生が多く

いらっしやいます。また、放課後まで一緒に残って、分からないところを話し合いながら勉強してくれる仲間がいます。学習室や図書室など集中して勉強出来る環境もあり、家ではなかなか集中できない私はよく利用していました。これらがあったおかげで私は第一志望に合格することが出来ました。3年生の時に一緒に支え合って勉強した仲間だけでなく、1年生の時に会った友達とも、今でも連絡を取り合い仲良くしています。卒業してからも交流を続けられる友達と出会えたことは、自分にとってこれからの大きな財産になると感じています。

斐太高校は未来への選択肢が広がる場所です。ぜひ、自分のやりたいことを見つけて、仲間や先生の協力を得ながら叶えたい未来を実現していきましょう。皆さんが素敵な高校生活を過ごせることを願っています。

令和3年度卒業生
大阪大学
外国語学部外国語
学科ドイツ語専攻
合格



板谷 遼三郎
 (白川郷学園出身)

斐太高校で過ごした3年間は私にとってかけがえのない時間でした。ここでは特に頑張ってきた勉強のことについて書いていこうと思います。

まず高校に入ると中学に比べて勉強しなければいけない量が格段に増えます。毎日のようにある小テストや授業の予習・復習。特に1年生の頃は勉強量の変化についていけず大変な思いをしました。しかしきちんとこなしていけば確実に力はつきます。大変ですが頑張りましょう。また斐太高校では進路実現に向けて月曜講座や放課後補習など自分の進路に合わせて活用できる学習の機会が用意されています。先生方も親身になって進路の相談にのってくださったり、個別に添削指導をしてくださったりと手厚くサポートしてください。また仲間の存在も大きく、特に受

験期は勉強のことで頭がいっぱいで本当に嫌になりましたが、ともに頑張る仲間がいたからこそ何とかやりきることができたと思います。斐太高校で出会う仲間たちは個性豊かで楽しい人たちがばかりでいつも心の支えになっていました。このように充実した環境があったからこそ私は最後まで勉強を頑張ることができたのだと思います。

勉強面ではつらいこともたくさんありましたが、もちろん高校生活はそれだけではありません。仲間と作り上げる文化祭や体育祭、行事のない日常に至るまで楽しいこともたくさんあります。皆さんがこれからの3年間、この斐太高校でさまざまなことに挑戦し自分の可能性を広げつつ、仲間と楽しく充実した高校生活を送れることを願っています。

令和3年度卒業生
岐阜大学
医学部医学科
合格



林 さくら
(明宝中学校出身)

私は岐阜大学医学部の地域枠推薦で合格することができました。ここでは、私の勉強法について書いていこうと思います。中学生の皆さんの受験勉強や高校での学習の手助けになれば幸いです。

私は家ではスマホやテレビなどの誘惑に負けてしまい、絶対に勉強できませんでした。勉強しなければいけないときは、塾の自習室か、学校か、図書館に行くようにしていました。家で勉強する方法を探すだけでなく、勉強せざるを得ない場所に自分を連れていくようにすることも試してみるといいと思います。また、スマホをどうしても触ってしまう

人は、学校や塾の先生や、親に預けるといいと思います。

地域枠推薦では評定平均がAである必要があるため、定期テストはかなり頑張っていました。評定平均は高い方が絶対得であり、定期テスト勉強は結果的に受験勉強に繋がるので、真面目に勉強した方がいいと思います。

音単や英語の構文、古単は覚えていないと問題が解けません。1年生のうちに完璧にしておくといいと思います。私はわからない単語に付箋を貼って、その単語だけを繰り返し見ておぼえていました。

受験勉強、頑張ってください。

令和3年度卒業生
金沢大学
人間社会学域
法学類
合格



日下部 正真
(竹原中学校出身)

僕は斐太高校での3年間、とても充実した高校生活を送ることができました。校訓として「切磋琢磨」「確乎不拔」があり、特に切磋琢磨という面をよく実感しました。

斐太高校には進学のために勉強に励む仲間がいて、互いに教えあったり競い合ったりすることができます。僕は遠方から登校していて放課後などに友達と教室や図書館で勉強をして、家では寝るだけという生活をしていました。家ではなかなか集中できないという人でも学校には一緒に勉強をする仲間や親身になって勉強を教えてくださいの先生方がいます。3年生になると、受験が近くなり不安やプレッシャーも大きくなります。ですがクラスではみんなで受験を乗り切ろうという雰囲気になり、先生方も放課後に補習をしてくだり一人一人丁寧に添削をしてくださったおかげで最後まで頑張ることができました。

勉強以外に、斐太高校では部活動や行事なども活発でたくさんの思い出をつくることができます。球技大会や蜻蛉祭と呼ばれる文化祭など仲間と共に何かを達成する機会がたくさんあり、こういったみんなで同じ目標に向かって全力で頑張るといことはとても貴重な経験となりそれ以降の生活にも役に立ちます。

最後に、斐太高校での3年間はあっという間に過ぎてしまいます。中学よりも自由であるが故に短い時間をどう使うかは自分次第です。まだ自分が何をしたいのか、進路が決まっていない人はたくさんいると思いますがそんな時に自分から一歩踏み出して新しいことを始めてみたり挑戦してみたりすることが大切だと生活していく中で感じました。後輩の皆さんが充実した学校生活を送れることを願っています。

令和3年度卒業生
北海道大学
総合理系学部
合格



尾崎 八雲
(清見中学校出身)

私が斐太高校で過ごした3年間はあっという間で本当に充実したものでした。

中学生の皆さんから見ると斐太高校は勉強がすごく大変というイメージがあると思います。もちろん課題はありますが決して多くはありません。実際に斐太高校の生徒は部活にもしっかりと取り組んでいて全国大会に出場する人もいます。かといって勉強がおろそかになるわけではなく進路状況にあるように難関大学を含め多くの生徒が進路実現をしています。進路については大学進学だけではなく、就職を含め幅広い進路選択が可能でそれをサポートくださる先生方がいます。そうしたいろんな目標を持った仲間と過ごす中で自分自身の考え方も広がると思います。まだ夢や目標が決まっていない人もぜひ斐太高校に進学することを考えてみてください。

また斐太高校の自由な校風も魅力のひとつです。先ほどの進路決定も含め、行事、学校運営など斐太高校では生

徒に多くの選択肢が与えられます。そのため生徒で新しい決まりを作ったり、行事を大きく変えたりすることもできます。もし行事運営にかかわりたい人がいたら生徒会執行部や文化祭の実行員会に入ってみるとより深く斐太高校を楽しめると思います。

斐太高校は行事も充実しており球技大会でクラスTシャツを着たり、みんなで文化祭の準備、買い出しに行ったりなど絵にかいたような青春を味わうことができます。どの行事でも同級生だけでなく先輩ともかかわることができるので縦のつながりも深めることができます。他にもFRHなど学びを重視したものもあります。私は斐太高校に入学できてよかったと思っていますし、これから皆さんが大事な高校3年間を過ごすにふさわしい学校だと思います。皆さんが斐太高校に入学し、高校生活を楽しくだうえで進路実現をできることを願っています。

令和4年度
前期生徒会長



岩腰 丈太郎
(東山中学校出身)

私は斐太高校に入学して2年が経ち、3年生となりました。入学してから様々なことを体験し、数えられないほど多くのものを得てきました。そんな私が考える斐太高校の良いところは特に2つあります。

1つ目は、「同じ目標を持った仲間が多くいる」ということです。斐太高校には大学へ進学することを目標とした人がたくさん入学します。そして、そのような仲間と共に生活していくことでお互いの学力や、勉強に対するモチベーションを高め合うことができます。私も現在の高校生活の中でたくさんの仲間と教え合うことで、自分の苦手が少しずつ減っています。

2つ目は、「生徒が主体となって学校を作っている」ということです。5月には球技大会、6月には文化祭、9月には体育祭があります。そして、これらの行事はすべて生徒が

実行委員となり、計画、実行していきます。時には先生方に手伝っていただくこともありますが、すべてを先生方が進めていくということはありません。これは今述べたような行事だけのことではありません。日常生活においても、委員会や生徒会を中心としてより良い学校を作っていくと取り組んでいます。

私は、高校生活はその後の人生でも忘れられない大切な思い出をたくさん作る場でもあると考えています。絶対に斐太高校に入ってほしいとは言いませんが、斐太高校は思い出を作る場としては最適だと思います。斐太高校に入学した際は、是非ともかけがえのない高校生活を送ってください。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

「懐かしい三星霜 思い出さそう 鐘は鳴る」



校舎の脇の一角に立ち、年一度、白線流しの開始の合図にのみ鳴らされる「平和の鐘塔」。これは、すべて生徒の手で企画や資金募集をおこなって完成した生徒会活動の金字塔なのです。

「平和の鐘塔」建設の声は、昭和25年の朝鮮戦争勃発に対し、世界戦争への不気味な前兆と受け止めた生徒たちの中から、平和問題を真剣に考えていく象徴として作ろうとする声があがってきました。その後、全校生徒の理解を得るために、議会や生徒集会、各ホームルームでくり返し話し合いをおこなって、生徒会の一大事業として建設することが決まりました。それ以後、生徒会による積極的な募金活動がおこなわれ、昭和27年12月8日、3年越しの悲願が実って「平和の鐘塔」が完成しました。

この鐘の音とともに、平和な世界がいつまでも続くように願った先輩たちの精神を心に刻み、斐太高生は卒業していきます。



岐阜県立斐太高等学校

〒506-0807 岐阜県高山市三福寺町736番地 Tel.0577-32-0075 Fax.0577-32-9006

URL <https://school.gifu-net.ed.jp/hida-hs/> E-mail c27337@gifu-net.ed.jp